

海の防人

- ◆ イチジクカチウ
ザレ話
- ◆ 「サセボ」と
「サセホ」



安全保障環境を巡る最近の動き

- 限定的
集団的自衛権
- 防衛装備品
移転三原則

安倍政権

民主党

- 東日本大震災
- 尖閣国有化

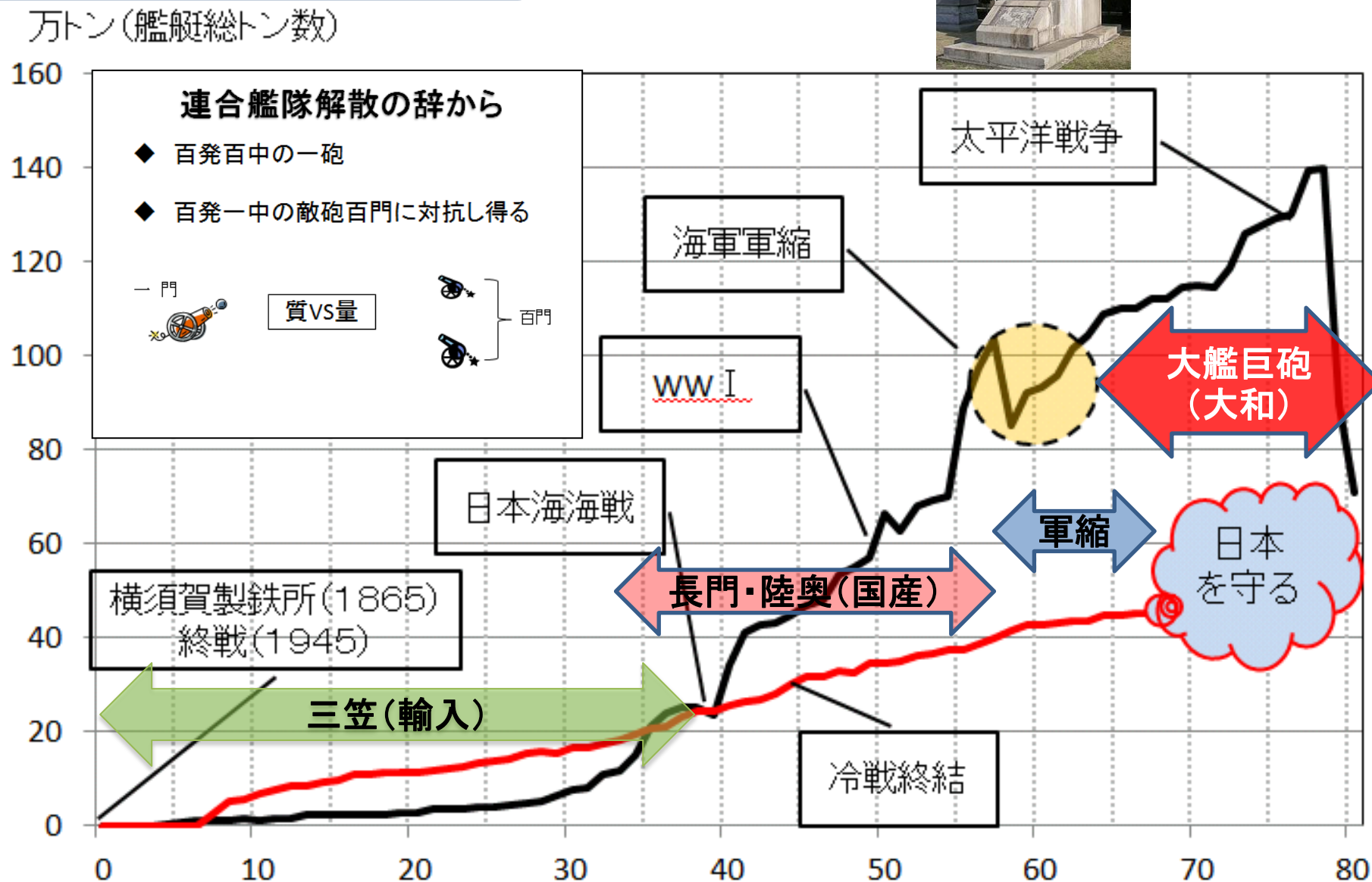
➤ 東シナ海

- ・防空識別圏の設定
- ・海自艦艇へのレーダー照射
- ・空自機・海自機への接近事案

➤ 南シナ海

- ・航行の自由作戦
- 朝鮮半島を巡る問題
 - ・核とミサイル

海軍の歴史と教訓





地球儀を俯瞰する
地政学的な見方

安保法制の戦略的意義

直接的
意義

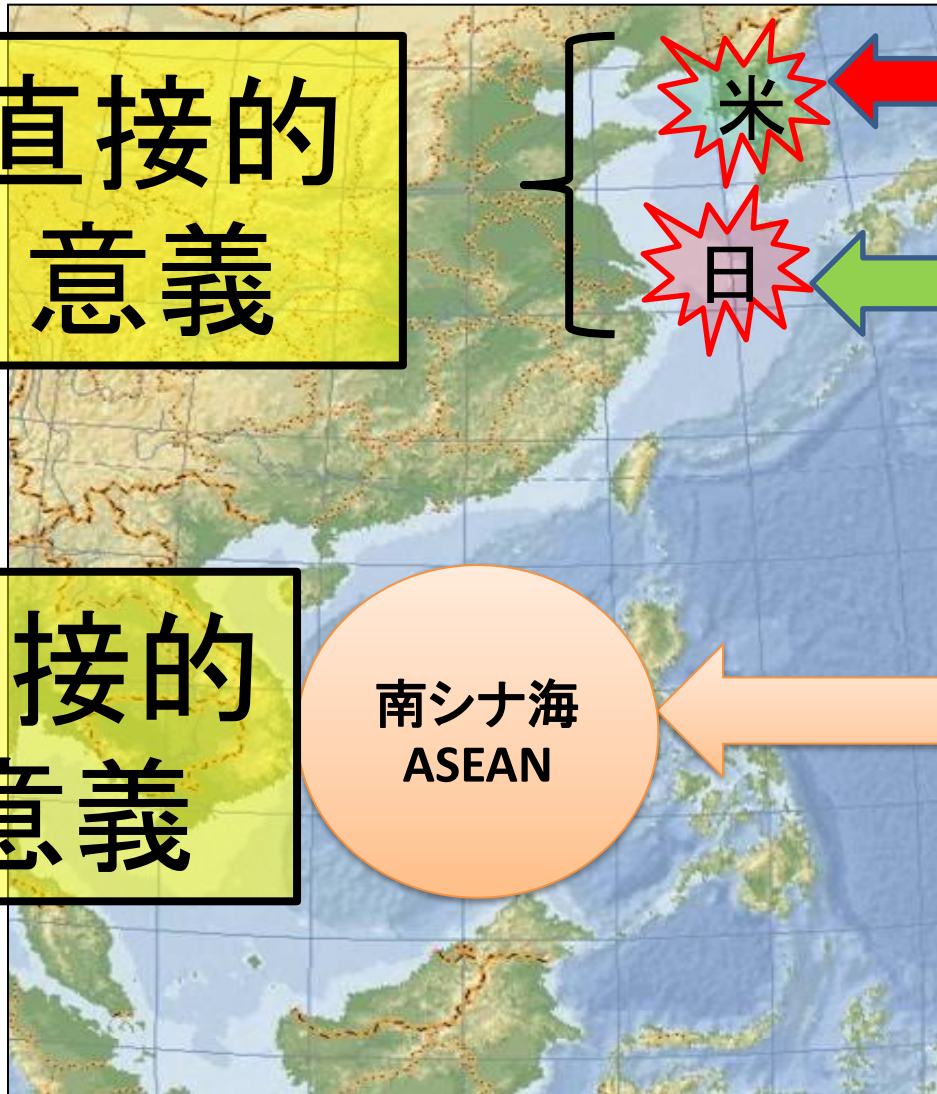
日本が支援

米国が支援

間接的
意義

南シナ海
ASEAN

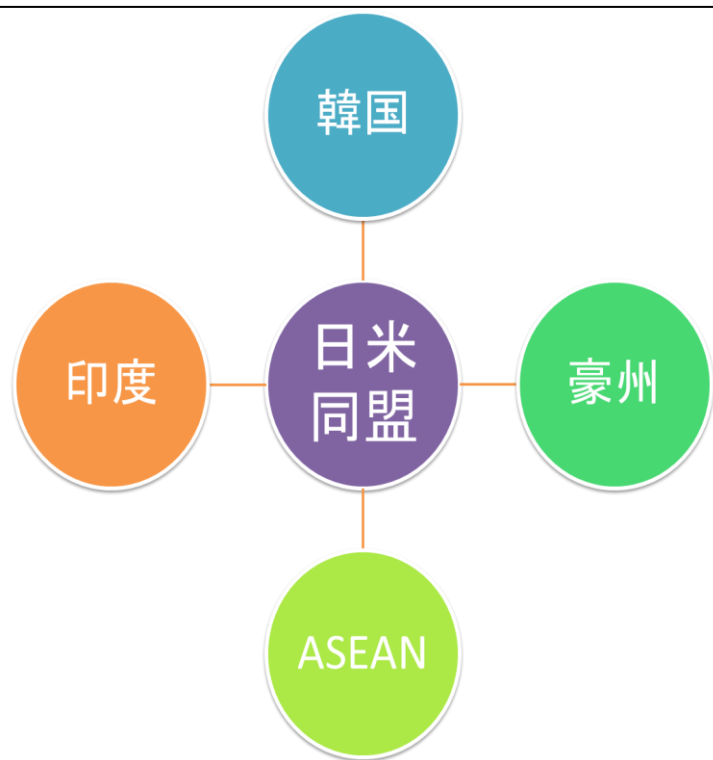
各国との
連携強化



集团的自衛権(限定)の容認 というアンブレラ



各国との共同連携の深化



- ◆ 共同訓練
- ◆ 緊密な情報交換
- ◆ 装備品の供与
- ◆ 共同開発
- ◆ 訓練相互支援

グレー事態の抑止と集団的自衛権

容認



限定的
集団的自衛権

否定



米国等共同訓練
の充実
多国間の情報共有

領域拡張願望への
抑止力⇒**大**

個別的自衛権発動
可能性を**抑制**

尖閣等
「グレー
事態」

日・米・中
軍事衝突

日本単独での
対応

領域拡張願望への
抑止力⇒**小**

個別的自衛権発動
可能性
「5条事態の発動」

「朝鮮半島」の危機管理 (朝鮮戦争は休戦状態)

◆限定的集团的自衛権

- 米軍(国連軍?)に対する支援
 - ⇒ 特に機雷掃海
- 弾道ミサイル防衛
- 邦人輸送

◆核の拡散防止(共同管理)

東シナ海

“沖縄列島の持つ意味”

オイルリグ

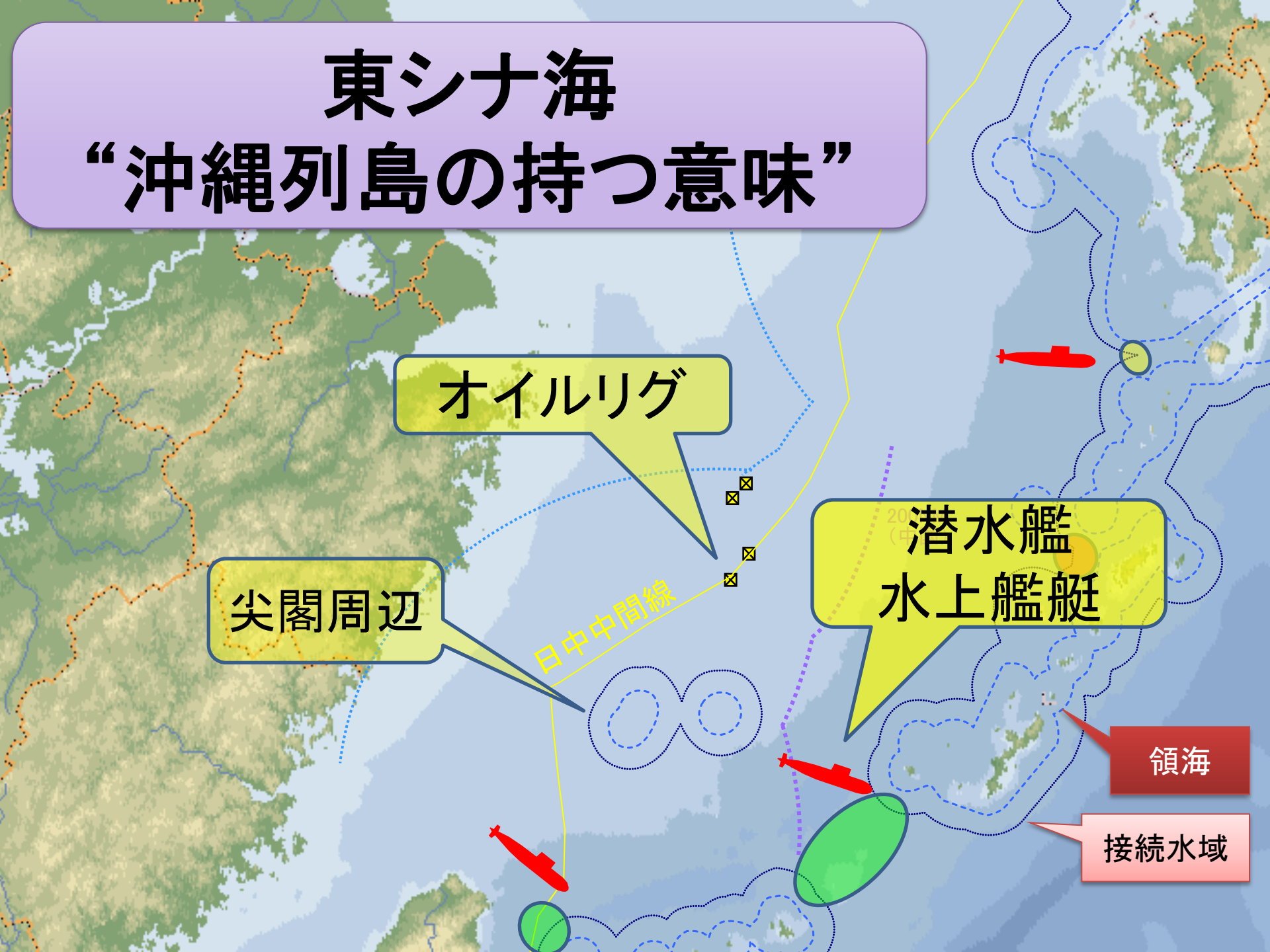
尖閣周辺

日中中間線

潜水艦
水上艦艇

領海

接続水域



「東シナ海」の危機管理

◆ 日本で対処するのが基本

⇒ 最悪の事態は日米安保発動コミット

⇒ 抑止力(安保法案の重要な意義)

◆ 但し「日米安保」の発動は

⇒ 日中米の戦争(第三次世界大戦)

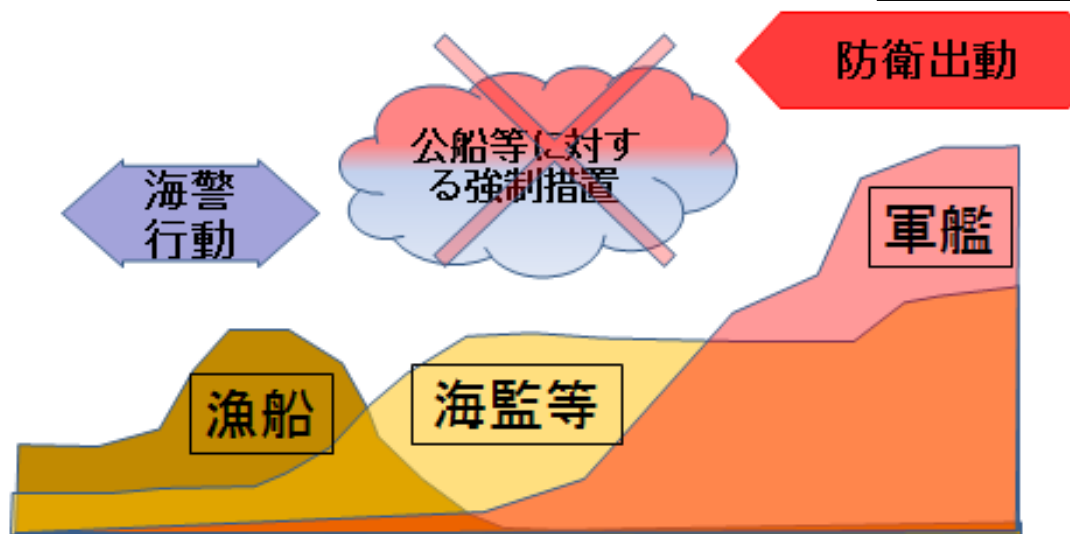
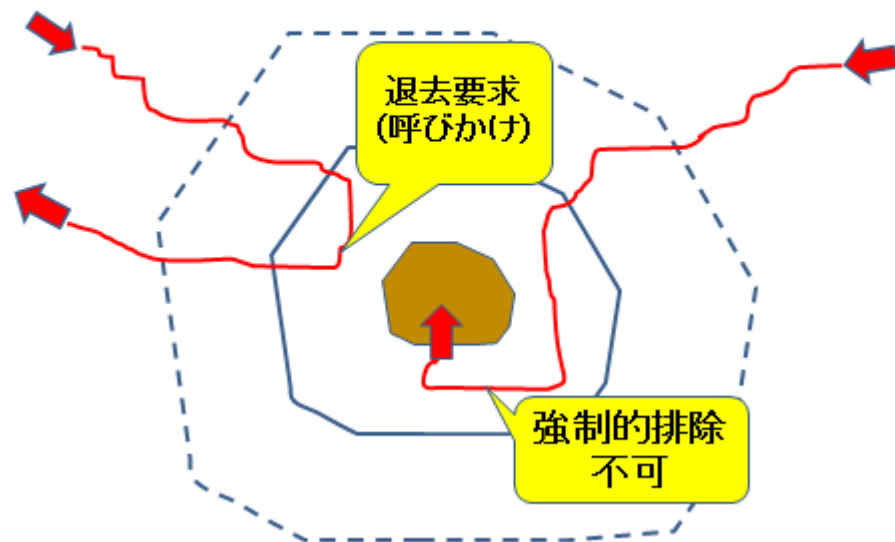
⇒ 第一次世界大戦(サラエボ事件)

◆ 防衛出動以下の対処力強化

⇒ 領域警備能力(グレー事態)の強化

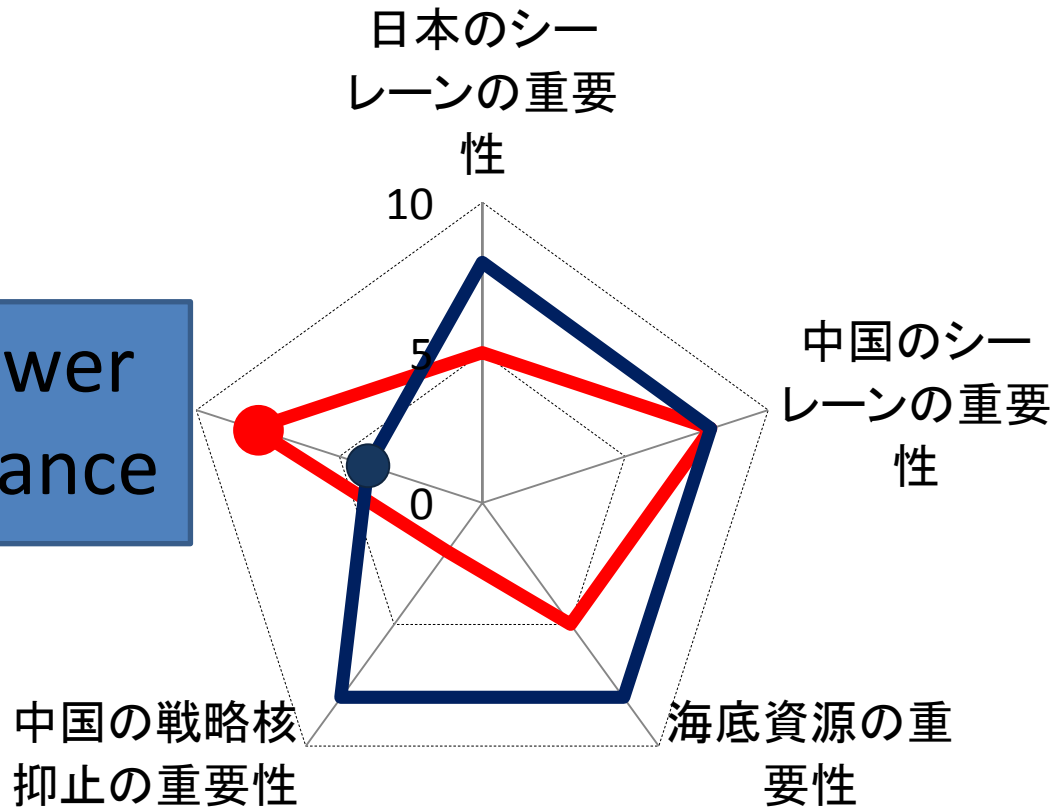
海上警備行動の発動は
海保への
量の補完であり(○)
質の補完でなし(×)

公船(海監・魚政)への対応



東シナ海と南シナ海の比較

Power
Balance



— 東シナ海

— 南シナ海

Woody Island



中国の埋め立て問題

50km N

SPRATLY ISLANDS

VIETNAM

ケナン礁

ミスチーフ礁

スービ礁

ガベン礁

South China Sea

ファイアリークロス礁

ジョンソン南礁

PHILIPPINES

クアテロン礁

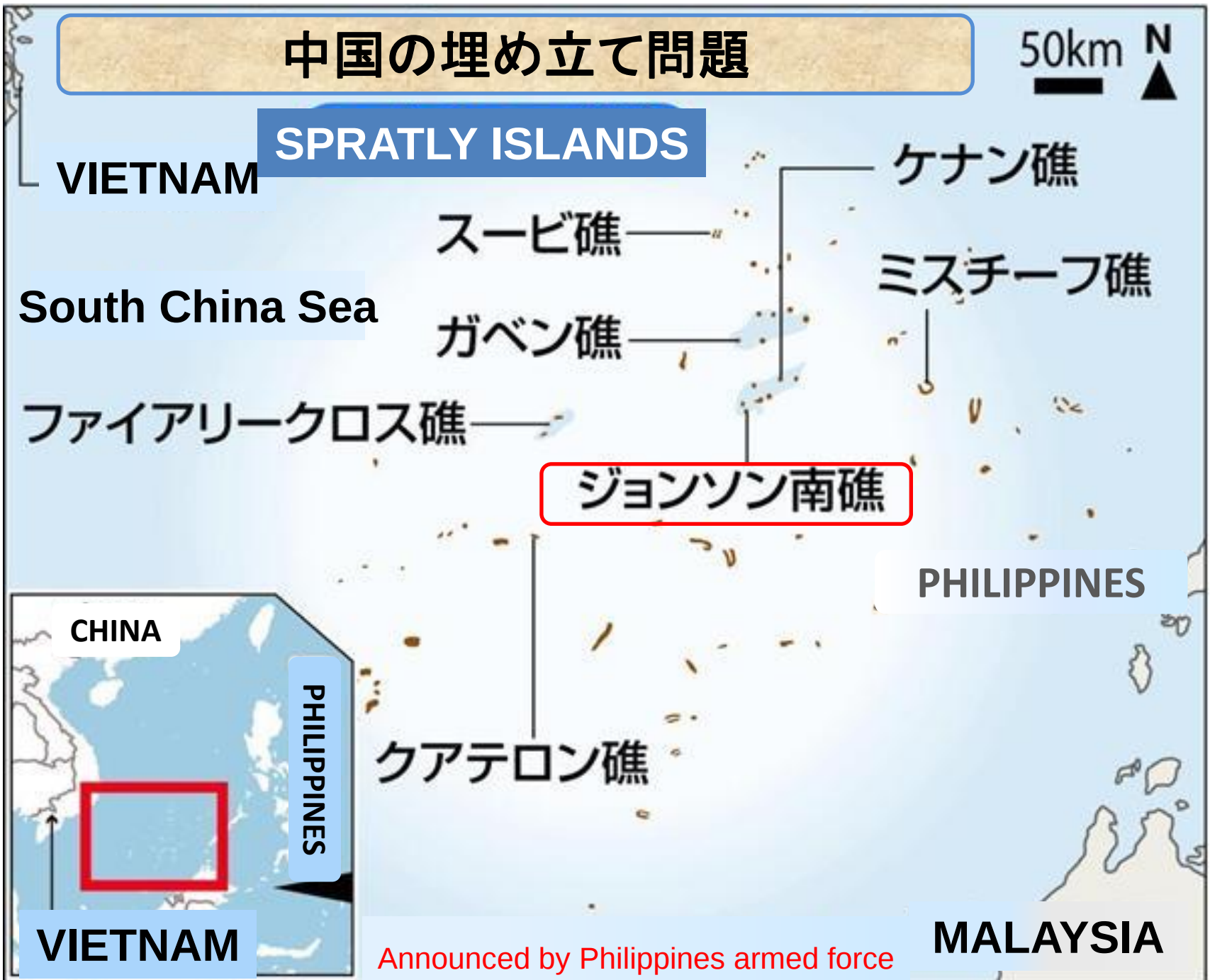
CHINA

PHILIPPINES

MALAYSIA

VIETNAM

Announced by Philippines armed force



ジョンソン南礁（赤爪礁）

Befor and After

赤瓜礁礁堡，2013年2月28日



1988 中国海军陆战队
在南沙群岛赤瓜测礁。



Power Balance の再構築

能力構築支援

◆南シナ海の領有権問題を抱える国

⇒フィリピン・ベトナム等の能力構築支援

⇒洋上監視能力の強化

- ・TC-90、巡視船の供与
- ・空域監視レーダー
- ・商用衛星の活用

◆領有権問題の直接関係ない国

⇒カンボジア・ラオス・ミャンマー等の能力構築支援

⇒幅広い支援の必要性

変化への対応(全般)

日・韓
連携強化

ASEAN諸国との連携
・二国、多国間共同訓練の促進
・能力構築支援

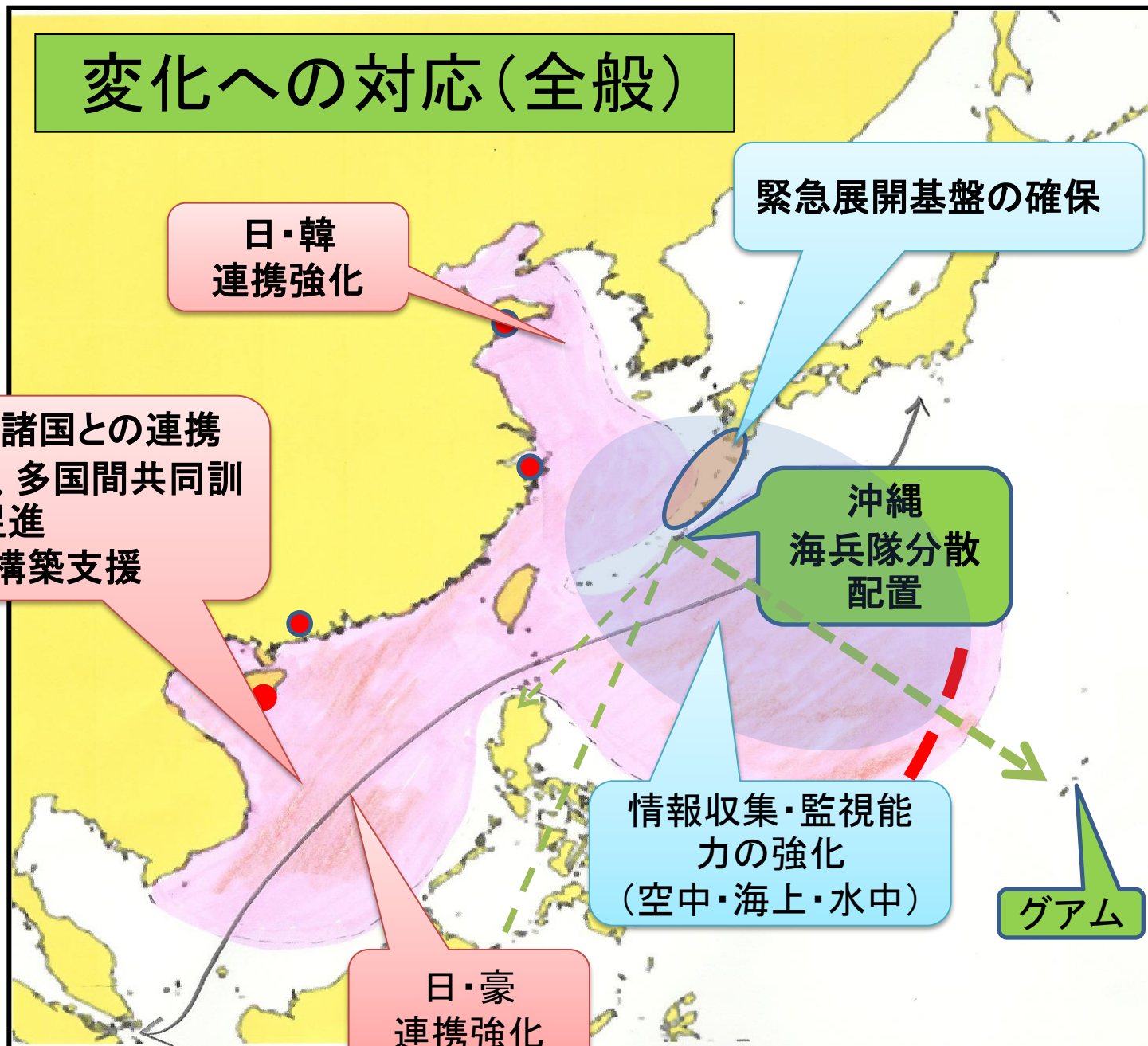
緊急展開基盤の確保

沖縄
海兵隊分散
配置

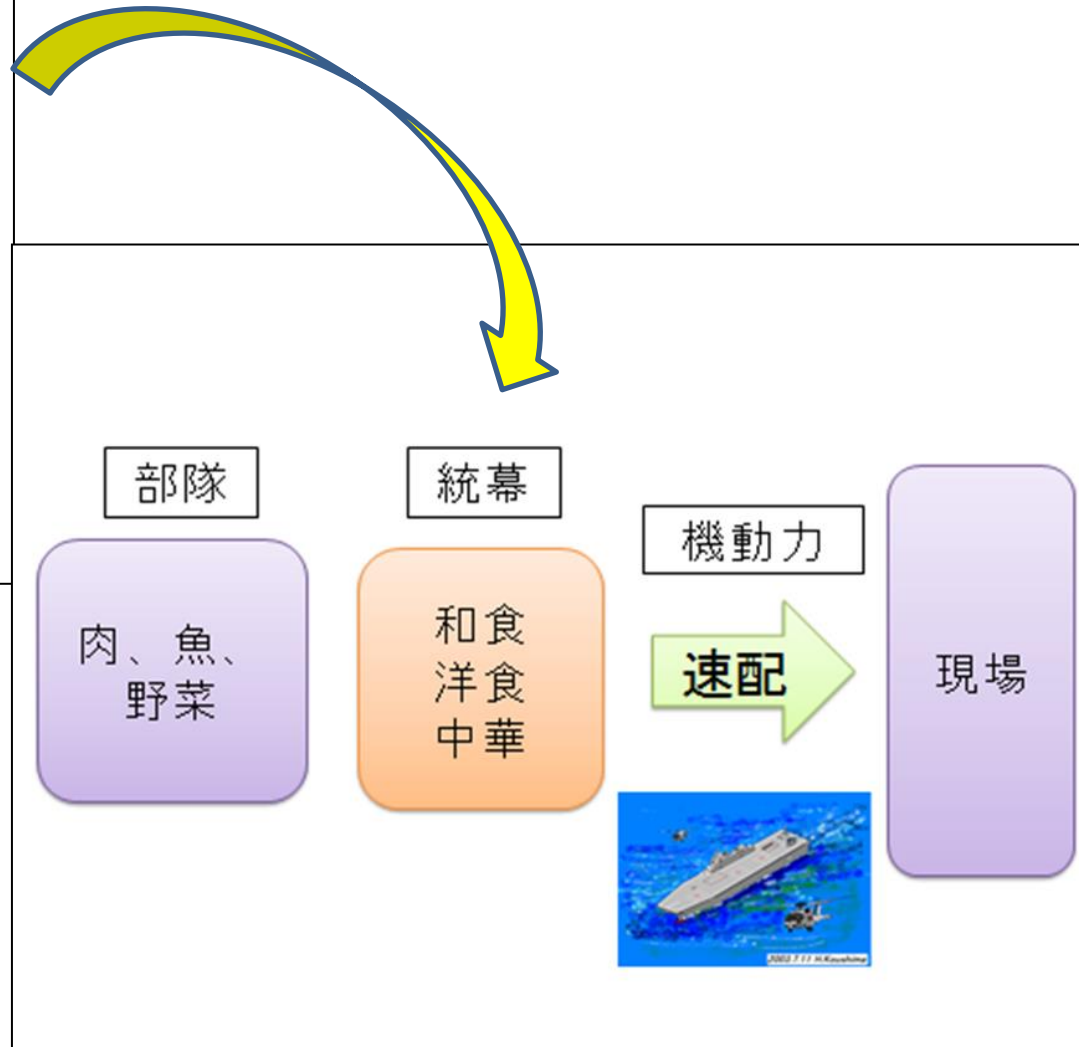
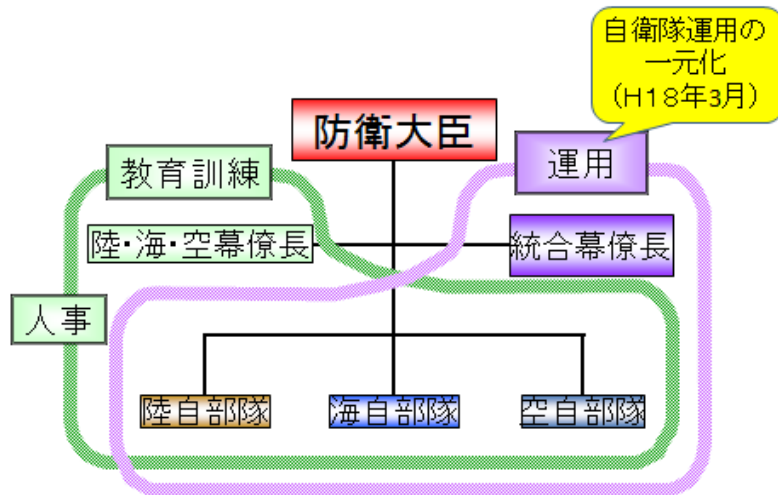
情報収集・監視能力の強化
(空中・海上・水中)

グアム

日・豪
連携強化



統合機動防衛力とは



多様な見方の重要性 (すべて統合すればいいのか?)

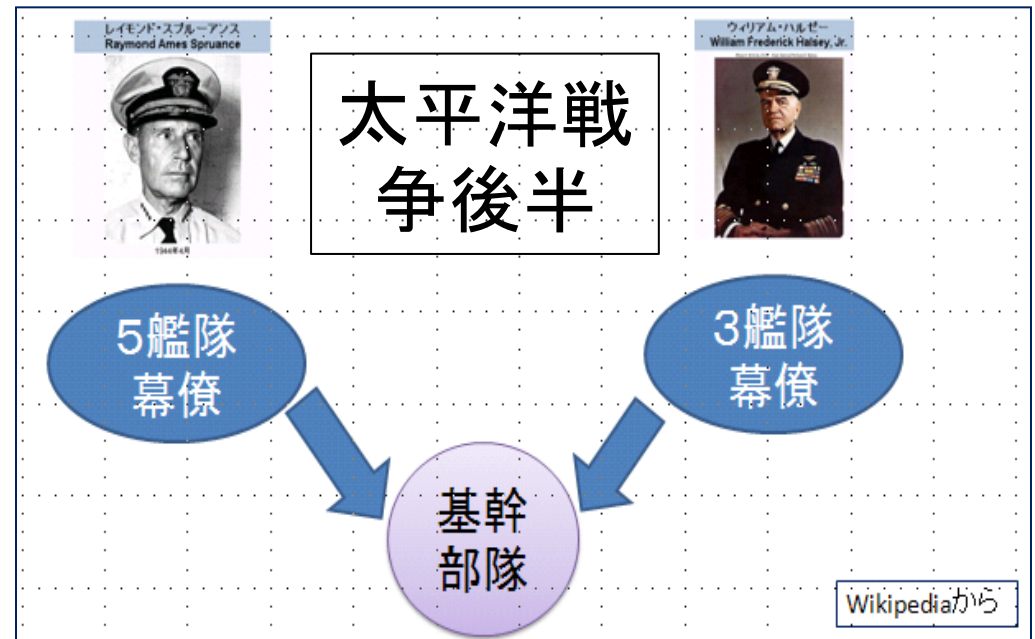


作戦の持続性の確保

◆幕僚活動の持続性 ⇒OBの有効活用

東日本大 震災の 教訓

「幕僚はヘトヘト」



多様な人材の育成



〇〇ハムシ

→ × × × ×

〇〇ハムシ

→ △ △ △ △

× × × × 〇〇ハムシ

大きく環境が変化する時代
少数異種が生き残る可能性

国家（国防）の在り様は？

◆核抑止力

独自での保有は

⇒東アジア一層の不安定化

核の傘の担保

⇒日米同盟の「国際公共財化・機関化」

◆通常戦力の抑止力強化

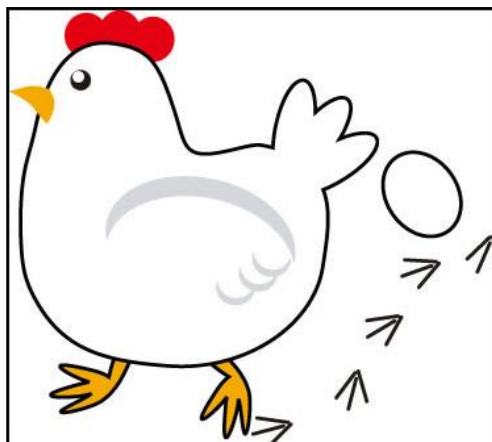
原理主義的「専守防衛」の呪縛からの開放

⇒「攻守」バランスのとれた兵力構成

⇒限定的集団自衛権の実効性の担保

憲法改正議論

「国家の在り様」の議論
が必要なのでは？



憲法を改正しなくては
動かないのでは？